

基本理念

誰もが安心して心豊かに暮らせる，快適な住生活の実現

現行計画の課題

現行計画の目標

見直しの視点

改定計画の目標（案）

1) 良質な住宅ストックの形成と
既存ストックの活用

借家世帯の居住水準の向上
防災に対応した安全な住宅・
住環境づくり
住宅・住環境の基本性能の向上，
環境対応型の住宅づくり

基本目標1
安全で環境にやさ
しい住まいづくり

2) 多様な住宅・居住ニーズに対応す
る住宅市場の形成

世帯規模に合った住替えの誘導
良質で多様な民間賃貸住宅の供給
住宅に関連する情報の提供

基本目標2
多様な市民ニーズ
に対応する住まい
づくり

3) 地域特性を活かした住まいづくり

街なか居住促進による中心市街地
の活性化
まちづくりと連動した住宅施策
市民参加の住宅・住環境づくりの
推進

基本目標3
宇都宮の魅力を活
かし高める住まい
づくり

4) セーフティネットの機能向上

高齢者世帯・障がい者等の居住の
安定確保
市営住宅のストック活用と建替え
等の推進

基本目標4
安定した生活を営
む住まいづくり

住宅・住環境を取り巻く現状・課題

時代の潮流
少子高齢化・人口減少の進行
低炭素・循環型社会
価値観や生活様式の多様化
地域コミュニティの希薄化

国の住宅政策の動向
ストック重視，市場重視
住宅セーフティネットの構築
多様な主体との連携

本市まちづくりの視点
みんなが幸せに暮らせるまち
みんなに選ばれるまち
持続的に発展できるまち

本市の重点政策の動向
ネットワーク型コンパクトシティ
の実現（拠点化の促進）
街なか居住の促進

地域特性・地域別課題
全市：コンパクトな市街地形成，
耐震化促進，空き家増加への対応，
定住促進 等
都心居住地：中心市街地活性化，
年少人口・ファミリー世帯の回復，
住宅地の防災対策 等
郊外型住宅地：ゆとりある低層住
宅地としての良好な住環境の維
持・保全 等
集落型地域：自然環境と調和した
住環境の維持・保全 等

市民意識
持ち家志向
住み慣れた地域で長く住み続ける
防災・防犯意識の高まり
街なか魅力づくり

取組評価
街なか居住促進，既存ストック活
用，住宅セーフティネット機能の
向上，多様な主体との連携

住宅・住環境づくりの
基本的考え方

良質な住宅ストックの形成
安全で環境にやさしい，良質な
住宅ストックの形成により，住み
慣れた地域でいつまでも住み続
けられるような住まい・住環境づ
くりに取り組む

様々な居住ニーズへの対応
それぞれのライフスタイルや
世帯構成に応じて多様な居住地
や住まいを選択し，いつまでも住
み続けられるような住まい・住環
境づくりに取り組む

地域特性を活かしたまちづくり
他市にはない本市の特性ある
地域資源の活用や地域拠点の形
成などにより，魅力ある居住地と
して選ばれるような住まい・住環
境づくりに取り組む

居住の安定確保
高齢者，障がい者，子育て世帯
等を含む誰もが自立し，安心し
て，快適に暮らすことができる住
まい・住環境づくりに取り組む

多様な主体との連携の推進
多様な主体が連携し，自助・
互助することにより，いつまで
も住み続けられる持続可能な都
市を具現化できる住環境づくりに
取り組む

視点：基本目標を踏まえた施策の着実な推進に向けては，行政のみならず，住生活に関わるすべての主体が相互に連携・協力することが重要

施策のイメージ

基本目標1
安全で環境に
やさしい住まいづくり

- ・安全に配慮した住まいづくりの推進
- ・環境に配慮した住まいづくりの推進
- ・既存住宅の有効活用

基本目標2
多様な市民ニーズ
に対応する
住まいづくり

- ・多様な居住ニーズに対応した支援等の充実
- ・多様な世帯が暮らしやすい住環境の整備

基本目標3
宇都宮の魅力を
活かし高める
住まいづくり

- ・中心市街地の活性化に資する居住促進策の推進
- ・良好な住環境基盤の形成
- ・地域特性を活かした住環境の形成

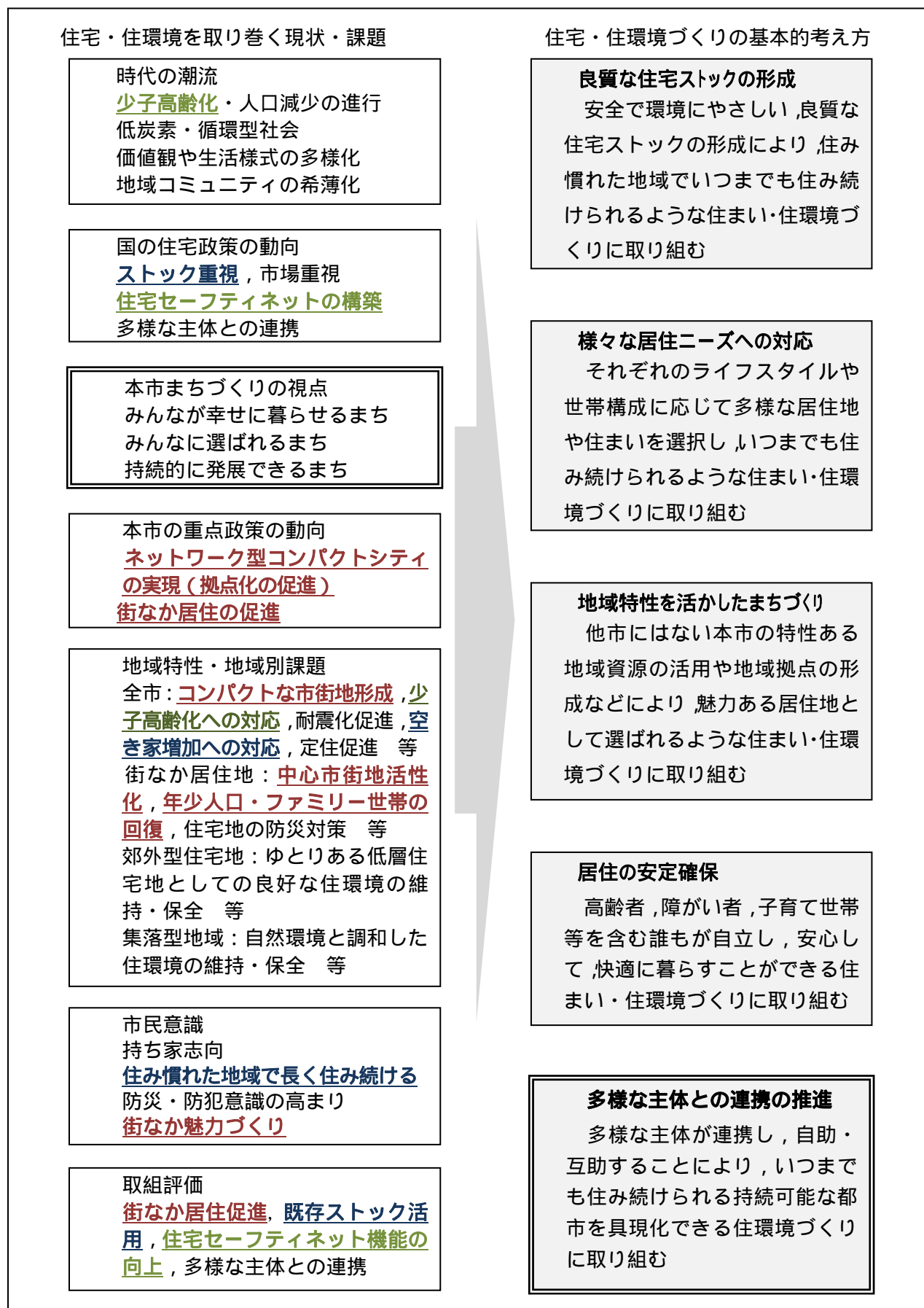
基本目標4
安定した生活を営む
住まいづくり

- ・高齢者・障がい者等に配慮した住まいづくり
- ・公営住宅の適正な管理・供給と計画的な建替え等の推進

基本目標5
多様な主体との
連携を活かした
住まいづくり

- ・市民と一体となった住宅・住環境づくりの推進
- ・住宅情報の提供体制の整備

現行計画見直しの視点(再掲)



重点的に取り組む施策のイメージ

基本的方針

人口減少社会や少子・超高齢社会の到来などに対応しながら、将来にわたり持続的に発展し、多くの人から選ばれ、幸せに暮らせる「住めば愉快だ 宇都宮」の実現に向け、住宅・住生活分野において喫緊に対応すべき重点項目を明確にしたうえで、施策横断的な取り組みを効果的に推進する。

重点的に取り組む施策1 街なか居住の推進

本市の目指す将来都市構造である「ネットワーク型コンパクトシティ」の考え方を踏まえ、都心拠点や地域拠点における、快適で暮らしやすい住環境の整備や住み替え誘導・促進に関する取り組み、また、流入人口増加、流出人口抑制などの視点に基づく取り組みなどを推進する。

重点的に取り組む施策2 既存住宅ストックの活用

人口減少社会の到来や、住宅ストックの量的充足の状況などを踏まえ、既存住宅ストックの質を高め、未来の世代に継承する取り組みや、適切に維持管理されたストックが、市場において循環利用される環境の整備に向けた取り組み、今後増加が予想される空き家の発生予防・利活用促進・適正管理に関する取り組みなどを推進する。

重点的に取り組む施策3 住宅セーフティネット機能の向上

高齢化のさらなる進展や長引く経済停滞等の状況を踏まえ、高齢者や障がい者、低額所得者等がそれぞれの特性に応じ適切な住宅を確保できるような、民間事業者など多様な主体との連携による、重層的かつ柔軟な住宅セーフティネットの構築に関する取り組みなどを推進する。

